

## 校長先生の話

先週の金曜日と今週の月曜日に、城北小学校で、新型コロナウイルスにかかった人がいることがわかりました。そして、昨日まで学校をお休みにして、城北小学校の中で新型コロナウイルスの感染が広がっていないか先生たちと保健所の人たちで確かめたり、先生たちが、学校の消毒をおこないました。その時に、保健所の人と話をしたこと大切なことを伝えます。

感染症にかかるないようにするには、いくつかの方法があります。すでにみんなが取り組んでいるように、マスクをしたり、手を洗ったり、密をさけたり、給食の時は話をしないで食べる、具合が悪い場合には、学校を休んだりしてもらうことです。みんなが、これを徹底してくれたら、学校内でたくさんの新型コロナウイルスにかかる人ができません。とても、大切なことです。

それでも、これまでみんなは、風邪をひいたり、インフルエンザになったりしてしんどくなったりしたことがありました。今はさらに新型コロナウイルスのことが心配になっています。この“風邪”“インフルエンザ”“新型コロナウイルス”的症状はよく似ています。ですから、今後、みんなの誰もがこうした症状を経験することがあるでしょう。具合が悪い人の中には、新型コロナウイルスに感染したと診断される人も身近な人の中から出るかもしれません。もちろん、それが友達だとわかったら自分は大丈夫かなと不安になることもあるでしょう。

新型コロナウイルスには誰もが感染する可能性があります。感染した人が悪いということではありません。学校やクラスの中で感染することは悪いことだという雰囲気ができてしまうと、新型コロナウイルスに感染したと疑われることをおそれて、具合が悪くなってしまっても、その後は言いだしにくくなったり、病院に行くのが遅くなったりしてしまいます。そうすると、さらにわれわれの地域で感染が広がってしまうかもしれません。

今日はこのあと先生たちからの話と、放送が終わってから担任の先生から新型コロナウイルスについて、みなさん一人ひとりに大事にしてほしいことのお話しがあります。もし、自分が感染したら、家族が感染したら、自分は友だちからどうしてもらいたいだろうか・・と、自分のこととして考える大事な時間にしてほしいと思います。

最後に、感染予防を徹底して、仲間を思いやり、日々の学校生活を送っていくことがとても大切になります。もう一度、「だれもが安心して登校できる城北小学校」するために考えて行動していきましょう。